

丹後地域の農業の現状・課題を学ぶ!

～ 丹後農業研究所にて校外学習 ～



生産科学系列生が農業研究員から直接指導を受ける

府立高校特色化推進プラン「久美高“輝き”プラン」の一環として、1月31日（金）午後、生産科学系列2年生が、京都府農林水産技術センター・丹後農業研究所にて農業校外学習を実施しました。今回の校外学習では、『丹後地方の農業の現状や課題を学び、農業分野における試験研究の課題設定の方法や調査研究の進め方、調査データのまとめ方や考察の方法等のノウハウを学ぶ』ことを目的として、本校で農業学習を学んでいる2年生10名が参加しました。

当日は、河瀬弘一所長をはじめ、各部4部門の研究員の方にお世話になり、丹後地方の農業の現状や課題、今年度の調査研究の中身を細かくわかりやすく紹介していただきました。その後、米の食味官能試験を体験させていただき、同一条件下で炊飯した炊きたての米2種類を「外観」「香り」「味」「粘り」「硬さ」「総合」の6項目について各自比較を行いました。日頃なじみ深い『コシヒカリ』と食味良好米として最近注目されつつある『つや姫』の2種類の米の比較を行い、生徒達も初めての経験で苦戦している様子でしたが、改めて『京丹後産コシヒカリ』の食味の良さを再認識することができ、日頃農業を学んでいる生徒達にとって、とても刺激的で実りある時間となりました。

